

魅力ある授業のために（単元化例） 文学国語 読むこと

1 単元の目標

- (1) 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。〔知識及び技能〕(1)エ
- (2) 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察することができる。〔思考力、判断力、表現力〕B(1)ウ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	文学国語	学年類型	2年	単位数	4単位	話すこと 聞くこと	
単元名	二編の詩の比較を基に詩の表現効果について考えよう （「雨蛙」）					書くこと	
						読むこと	○
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解している。		「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。		二編の詩を比べ読みし、表現効果をまとめる活動を通して、詩に表れているものの見方、考え方を粘り強く理解しようとする中で、自らの学習を調整しようとしている。			
主たる言語活動							
二編の詩を比較し、表現効果についてまとめる活動。							
時間	授業のねらい・主たる学習活動	重点項目			評価方法		
		知	思	態			
1	二編の詩を比較し、表現効果について考える。				<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察（音読） ・行動の確認（話し合い） ・記述の分析（ワークシート・振り返りシート） 		
	①単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ②詩「雨蛙」を音読し、口語自由詩のもつリズムについて理解する。 ③「雨蛙」に出てくる目に見えているもの、見えていないものを分類し、情景の展開を想像する。 ④「存在の孤独」を読み、二編の詩の違いについて、根拠を上げて話し合う。 ⑤二編の詩を比較し、それぞれ「象牙の塔」「人生の街頭」のどちらに当てはまるか、根拠を挙げて話し合う。 ⑥二編の詩の比較を基に表現効果について、考えをまとめ、ワークシートに記述する。 ⑦振り返りを行う。	○	◎	◎			
定期考査		◎					

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
<p>作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p>	<p>二編の詩を比較し、表れているものの見方、感じ方、考え方を的確に捉え、情景描写や心情描写などの表現効果について考察を深めている。</p>	<p>二編の詩を比較し、表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、情景描写や心情描写などの表現効果について考察している。</p>	<p>二編の詩を比較し、表現効果について考察している。</p>